

FM 小田原株式会社 令和 7 年度 第 5 回番組審議会 議事録

FM おだわらでは下記のとおり、番組審議会を開催いたしました。

記

開催年月日 令和 7 年 12 月 9 日（火） 15 時 30 分～17 時 00 分

開催場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室 9

出席者 【番組審議委員】

委員総数 5 名

出席委員数 5 名（委任状含む）

出席委員名 野口 孝二委員長・益田 義春 副委員長・
秋山 朋子委員・宮内 亜弥子委員・北村 洋子委員

【FM おだわら】

出席者名 代表取締役 鈴木 伸幸
放送局長 永田 圭志

議題

『FM ODAWARA Think MIRAI レディオ

～聴覚障がい者のための防災ツール～』について

議事の内容

審議に先立ち、益田義春副委員長からご挨拶を頂戴し、代表取締役の鈴木伸幸よりご挨拶を申し上げました。

次に今回の議題である番組について、放送同録 CD を聴いた後、各委員から感想・意見を伺いました。

審議の内容

まず、議題の内容『FM ODAWARA Think MIRAI レディオ』について、概要説明に入りました。

◆審議対象番組名：「FM ODAWARA Think MIRAI レディオ

～聴覚障がい者のための防災ツール～

◆放送時間：2025年11月28日(金) 14:00～15:00

出演者：瀬戸優樹(YAMAHA)、牧いずみ(FMおだわら)

<番組概要>

番組内容：『FM ODAWARA Think MIRAI レディオ～聴覚障がい者のための防災ツール～』は、2025年11月28日(金)の14:00～15:00に放送した60分の特別生放送番組。

「聴覚障がい者のための防災ツール」をコンセプトに、災害によりインターネット回線がダウンしているという設定で、番組内で実際にテキスト指示信号が入った音声を送出し、その音声を電波で受信すると文字化され、モニター画面に映し出されるという実証実験の一部として放送した。

聴覚障がい者や訪日外国人及び災害時の情報伝達を強化するため、ヤマハ株式会社 新規事業開発部 SoundUDと共同でラジオ放送音声のテキスト化、多言語多手段の情報伝達の開発を進めている中での実証実験となり、当日は小田原市役所2Fのロビーに特設会場を設置し、放送と連動して実験は行われた。

この他、現在の災害時の情報伝達について、総務省関東総合通信局、小田原市防災対策課をゲストに迎え、お話を伺った。

今回は、令和7年11月28日(金)放送分を審議していただいた。

各委員より、次の感想、意見等をもらいました。

- 聴覚障がい者や、外国人にとっても災害時でのラジオの有効性が広がる。
- このような実験の積み重ねが必要となってくるので、どんどんやるべきだ。
- サイネージの設置場所なども重要になってくる。
- 説明はされていたが、音だけでは分かりづらい箇所があった。

これに対し、下記の返答をしました。

- 委員の皆様から頂戴したご意見を踏まえ、今後の番組制作に反映してまいります。

最後に各委員からの放送に関して御要望や御提案を伺い 17 時 00 分に審議終了、散会しました。

審議機関の答申または改善意見に対してとった措置及びその年月日 : なし

審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法、内容、及び年月日

下記の形で概要をまとめて公表。

- ① 令和 7 年 12 月 10 日、10 : 44 から 3 分間、当社で放送
- ② 当社事務所への備置き
- ③ 令和 7 年 12 月 10 日、当社ホームページに掲載 (<https://fm-odawara.com/>)

その他参考事項 : なし

以上

次回の番組審議会について

日時 : 令和 8 年 2 月 10 日 (火) 15 時 30 分～

場所 : おだわら市民交流センターUMECO 会議室 9